

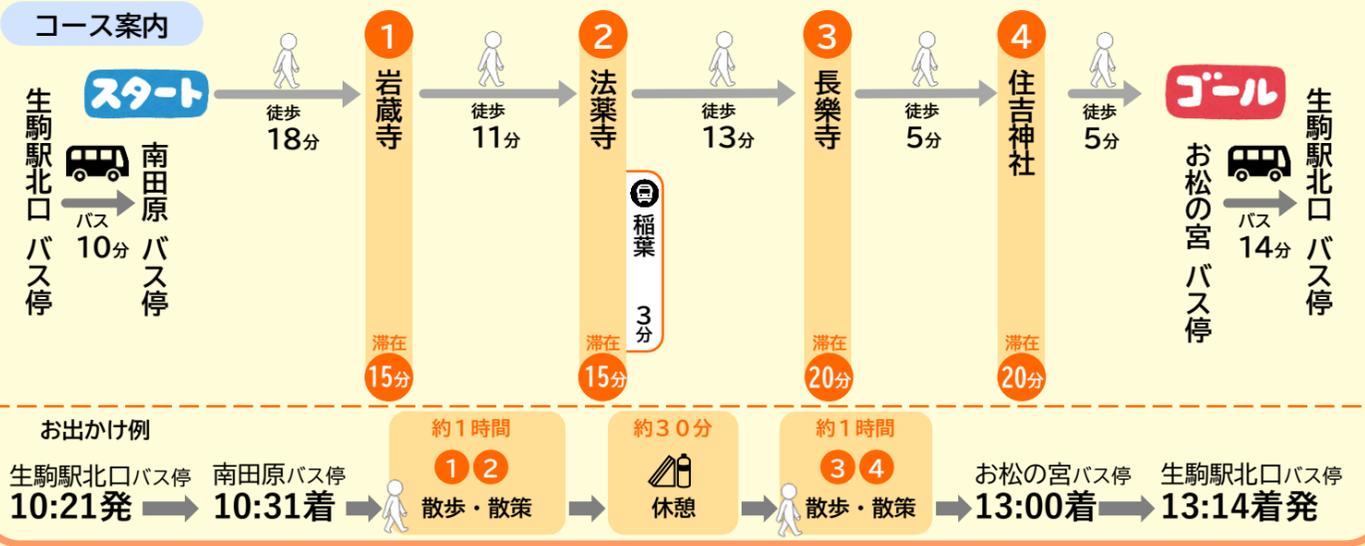
所要時間  
徒歩2時間

市 HP



おすすめ時期  
春・秋

このコースのポイント  
歴史散策が楽しい



**1 岩蔵寺**

岩蔵寺は、真言宗御室仁和寺派の末寺で真言密教の修験道湯として栄えた寺であったようです。寺伝によると、延暦年間(782~806)に伝教大師最澄が堂を建立、毘沙門天を遷し自作の「吉祥天女禪尼童子」とまつり岩蔵寺と号す、とあります。岩蔵寺の右側を見上げると、岩の上に弥勒菩薩像を拝観することができます。

**2 法薬寺**

新塔堂法薬寺は岩蔵寺の末寺で寛文年間(1661~1673)に開山創立されました。本尊は子安地藏尊で、安産祈願の寺として信仰を集めています。4月8日の薬師如来祭と、8月23日の子安地藏尊祭の両日には本堂が開かれて、普段は厨子に納められている仏像を拝観することができます。

**3 長楽寺**

融通念佛宗法性山長楽寺は、寺伝によると江戸時代初期(1600~1867)岸瑞上人が開基、享保2年(1717)六世奉願の時、開山しました。現在の本堂は、寛政7年~文化12年(1795~1815)に創建されており、寺内では五輪塔や如意輪観音像などが拝観できます。

**4 住吉神社**

住吉神社は「おまつ宮」の愛称で親しまれ、南北田原の住民の氏神である。大阪住吉神社の攝社です。

**龍ヶ淵と雨乞い伝説**

弘法大師の創設といわれるこの龍ヶ淵(りゅうがぶち)は清水常にこんこん湧き、神社の森の葉陰をおとし、夏なお冷涼の清らかさを持ち続けていたであろうが、年月の過ぎた今日、泥土と葦で泥沼化し、見るかげもないが、如何なる旱天(かんてん)続きであっても水の絶えることがない。かつてこの泉水の底を浚渫して雨乞い祈願をすれば、不思議にも旱天に慈雨があたえられたといわれている。天明の飢饉(1782~1787)から30~40年後、農家の人々が次第に豊かになり、本殿が建築されたと思われる(1823)。天保の飢饉(1833~1837)の際、雨乞い祈願の後「雨喜び(あめよろこび)」で拝殿前に石灯籠が奉納された。また、大正の米騒動もうち続く飢饉の後生じたもので、その疲弊から立ち直った大正15年(1926)に社務所が建立された。その頃に雨乞祈願が行われている。なお、この龍ヶ淵は天の川の源でもある。

住吉神社 WEBサイト